

曾我の傘焼きまつり六十回開催記念講演のご案内

曾我兄弟遺跡保存会が開催してまいりました奇祭『曾我の傘焼きまつり』も皆様のおかげをもちまして今年六十回目の開催を迎えることが出来ました。これも今日まで長きにわたりご支援を頂いた関係者皆様のおかげと深く感謝いたしております。

つきましては六十回開催を記念しまして「曾我物語」をより一層身近に感じて頂き、学術的な角度から楽しくご理解を深めて頂ければと思いい講演会を企画いたしました。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

曾我兄弟遺跡保存会 一同

一、開催日時 平成二十九年五月二十日(土)

第一部 十時三十分～十一時五十分 講師 島崎直人氏 『史跡から読み解く曾我物語』

第二部 十三時～十四時二十分 講師 早乙女牧人氏 『文学から読み解く曾我物語』

一、開催場所 梅の里センター2F 大会議室 (JR東海 御殿場線 下曾我駅 徒歩1分)

一、申し込み方法 先着百名 (参加費は無料です) メール・FAX・ホームページお問合せ欄

※ 講演申込希望と記載の上 住所・氏名・連絡先電話番号をお知らせください

(複数の場合は人数と代表者のみの右記内容をご連絡ください)

一、申し込み先 ①事務局 メール soganokasayaki@gmail.com (曾我の傘焼き)

②事務局 FAX 0465・42・4212

③ホームページのお問い合わせ欄 <http://kasayaki.com> (傘焼き)

④下曾我地区の方は電話でも受け付けます 事務局 佐宗 42・0645

会長 鳥越 090・8316・1729

一、申し込み期間 四月二十四日(月)～五月十日(水) ※ 定員になり次第締め切りとなります

講師紹介

第一部

島崎直人氏 一九六七年 神奈川県生まれ。東京学芸大学教育学部卒業。

平塚市吉沢小学校教諭。この間、二宮町史特別執筆委員、大磯町史資料調査員。主な著書には『大磯・虎探訪』を始め、大磯町・二宮町に関する研究史が多数。今回は曾我物語の世界を、兄弟の菩提を弔う「虎御前」の姿に追いつつ、歴史学の視点から俯瞰して頂きます。『吾妻鏡』に僅かに記述が残されている虎御前ですが史書・史跡・伝承からその姿を求め、なぜ後世まで語り継がれる物語となったのか、その謎に迫ります。

第二部

早乙女牧人氏 さおとめ・まきと 一九七八年 三重県生まれ。現在、神奈川県藤沢市在住。

東海大学文学部日本文学科非常勤講師。日本中世文学を中心に研究を行い、現在、國學院大学において荷田春満に関する科研費研究事業に携わる。

今回は一般に知られている「仮名本」の曾我物語と、「訓読本」の曾我物語を比較し、兄十郎と弟五郎、兄十郎と虎御前にまつわる話題や和歌を比較していただき、文学的な視点から二つの曾我物語の違いを、会場の皆様に味わっていただきます。